



2016 日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー (高校生国際交流) 中国プログラム 実施報告書

10月9日(日)～10月17日(月)

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

AEON 1%
Club Foundation

つながる つづける

關係者各位

事務局長 本田陽生

日頃より公益財団法人イオンワンパーセントクラブの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年継続実施の8年目を迎えました本事業につき、下記の通りご報告申し上げます。

- ①＜表敬活動＞

- ## ②＜歴史文化体験活動＞

- ・万里の長城、故宮、天安門広場見学
- ・北京企画展覧館、国家大劇場、雁西湖 APEC 会議センター、三峡ダム見学
- ・太極拳、景泰藍（七宝焼き）作り、高密泥虎、年画作り体験

- ③＜交流活動＞

- ・学校訪問、授業体験
- ・青島大学訪問、授業体験（札幌日本大学高等学校の学生が参加）
- ・ホームステイ（2泊3日）
- ・フェアウェルパーティー

- ④＜「日中交流集中月間」特別活動＞

- ・北京市中日密雲植樹活動への参加
- ・武漢市太陽光発電システム贈呈式への参加

- ## ■新たな取り組み：

- ①青島市人民政府副市長への表敬訪問
- ②青島大学訪問及び授業体験
- ③「日中交流集中月間」特別活動に参加
- ④北京テレビ局の密着取材（約 50 分間の特集映像は後日北京テレビ局のチャンネル及びネットテレビ局「北京時間」にて放映予定）

<表敬活動>

●北京市人民政府表敬訪問

日 時：10月10日（月）9:00～10:00

表敬相手：王 安順 市長



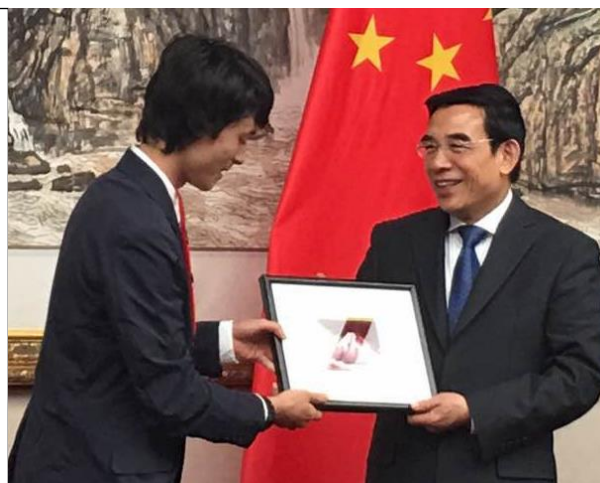
北京市人民政府 王 安順 市長



北京市長への表敬訪問

王安順市長よりご挨拶（抜粋）

日本からお越し下さった日本小大使、そして新しい友人、古い友人とお会いでき、私は非常に嬉しく思っています。まず、北京市人民政府、及び2200万人の北京市民を代表して皆様に心から歓迎の意を表します。青少年は国の将来であり、両国の青少年は中日関係を発展させる責任を背負っています。小大使各位は元気に溢れて、自信満々で、私は皆さんの姿から中日両国の美しい将来が見えます。先程、福家さん(学生代表)の素晴らしいスピーチを聞いて、私は大変感動しました。福家さんこそ、中日友好を願う両国民の代表者だと私は思います。



日本小大使より王安順市長に七宝焼きの額（赤富士）を贈呈



北京市人民政府で記念写真（前から2列目 右から9番目 高志勇副主任、10番目 趙会民主任、11番目 王安順市長、12番目 横尾博理事長、13番目 羽生有希総裁、14番目 古澤康之総経理）

<表敬活動>

日本小大使代表挨拶

筑波大学附属高等学校
学生代表

本日は、私たち日本小大使の訪問を受け入れていただきありがとうございます。私は、このような場所で挨拶できる機会を与えられたことを大変光栄に感じています。

三ヶ月前の七月には、中国小大使の皆さんが日本を訪問してくれました。その時に感じた新鮮な思いは、今でも私の心にはっきりと残っています。私は、これまで一度も日本を出たことがありませんでした。そんな私にとって、中国の高校生との出会いは、初めて日本以外の国の文化を肌で感じた瞬間であり、あの時ほど「私は日本人なのだ」と明確に意識したことはありません。

中国人、日本人という「国」という枠組みを意識したからこそ理解できたこともあります。それは、「私たち中国、日本の小大使は共に同じ高校生なのだ」という当たり前のことからです。確かに、中国の生徒と接している間に、何度も文化の違いは感じました。しかし、一緒に勉強し、頭を悩ませ、美しいものを見て感動し、珍しいものには驚き、その生き生きとした中国の生徒の姿に、彼ら、彼女らも私たちと変わらないということ、中国人、日本人である以前に同じ時を生きている高校生なのだと思えました。私の持っている中国、日本についての知識はまだ浅いものです。私には理解できない複雑な問題も両国の間にはあります。けれども、年若く未熟な私だからこそ言えることもあります。私は純粋に思っています。中国と日本で仲良くしていきたい。両国のさらなる発展とこれからの交流のために協力していきたい。幼稚にも聞こえるこの願いが実現したらどんなに素晴らしいのでしょうか。



中国小大使の訪日から三ヶ月経ちましたが、今でも鮮明に覚えていることがあります。東京を観光している際、中国の高校生は熱心にガイドさんの話に耳を傾けたあと、必ず私たちにその話に関連した中国のことについてもたくさん話してくれました。その時の楽しそうな、そして誇らしそうな表情がとても印象深く、忘れられません。私の持っていた中国に対する漠然としたイメージは、皆さんの笑顔に満ちた表情によって、色彩豊かな生き生きと魅力あるものになりました。

お互いをよく知りたいと思う気持ちさえあれば、私たちは理解し合うことができ、一つの未来を共有することもできると思います。無論、私たち高校生にできることは多くありません。しかし、これから未来をつくるのは私たちです。中国と日本のより良き未来を築き上げるため、私たちは更なる一步を踏み出さなくてはなりません。

私たちはこのような交流活動に参加する機会に恵まれ、今この場にいます。そのような私たち小大使に与えられた使命は、これからの日中両国の架け橋となることでしょう。ここにいる私たちは、そのことを誇りに、努力することを誓います。

最後に、今回の日中交流活動に関わり、私たちを支援して下さった全ての方に心より感謝申し上げます、私の挨拶を終わります。ご清聴ありがとうございました。

<表敬活動>

●在中国日本大使館での質問会

日 時：10月10日（月）17:30～18:10

質問会：山本 恭司 公使



山本恭司公使との質問会

Q. 私たち学生は日本と中国の関係を更によくするためにどのような行動が必要ですか。学生一人一人の力は弱いと思いますが、私一人ぐらい何もしなくていいと全員が思ってしまうと、いい展開に進まないと思います。そのため、私たちはどのような心構えを持って日中関係を更によくしていければいいのでしょうか。

— 岩田高等学校 学生

A. 非常に真面目ないい質問です。日中関係の改善のために私たちは何ができるかということを考えることは非常に有り難いことだと思います。ただ、皆さんのような若い人たちは先ず日中関係をよくしようということを考えなくてもいいです。国と国の関係というのは当然一人一人の個人の関係に関わっています。従って、皆さんにとってはいろいろな大きな問題を考えることは重要ですが、行動の上では、今回中国に来たり、中国の友達を作ったり、中国のことを勉強したりして、一言で言えば中国を好きになる、中国をもっと知るといった一人一人の努力が日中関係の改善に繋がると思います。

— 山本恭司 公使

Q. 日本では学校のサークル活動が非常に活発ですが、その理由は何ですか。中国の学生も授業が終わった後に、サークル活動をやっていますが、これに対して何かアドバイスがありますか。

— 北京市三里屯第一高校 学生

A. 難しい質問ですね。私は学生時代に柔道のサークル活動をしていました。勉強もしましたが、今学生時代を振り返ると、やはりサークル活動が一番の青春だなと思います。日本の学生は普段いろいろな運動や活動をしています。サークル活動を通じて、友達ができたり、もっと努力したいと思ったりすることで、学生生活の中の美しい思い出になります。従って、皆さんには勉強以外にサークル活動も積極的に参加して、頑張ってもらいたいと思います。

— 山本恭司 公使

<表敬活動>

●在中国日本大使館歓迎会

日 時：10月10日（月）18:30～20:30



集合記念写真（椅子の中央は山本恭司公使、中央の左からは高志勇副主任、川上文博公使参事官、謝約処長、王蓬副処長、張軒副主任科員、田口哲也総経理、胡慧君副董事長。中央の右は横尾博理事長、横井理夫参事官、羽生有希総裁、古澤康之総経理、李洪海前副主任、中根健総経理、四方基之責任者、山根和征総経理）



山本恭司公使より歓迎のご挨拶 中国小大使より山本恭司公使に竹の絵を贈呈 日本小大使より山本恭司公使に日本茶を贈呈



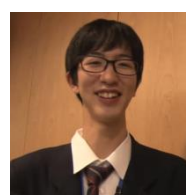
日本小大使よりよさこいソーランを披露



中国小大使より太極拳を披露

☺小大使の感想

久しぶりの再会なので、人見知りするかと思ったけど、会ってすぐ、今まで3か月の間に何をしていたかを話しました。凄く楽しかったです。



札幌日本大学高等学校
男子学生

<表敬活動>

●外交部への表敬訪問及び質問会

日 時：10月11日（火）15:00～16:00

質問会：耿 爽 報道官・新聞司副司長



中国外交部報道官・新聞司副司長
耿 爽 様

日本小大使代表団の皆様が外交部にお越し下さって、定例記者会見を傍聴して頂いたことに心から歓迎いたします。私は新任の報道官で、9月26日に初めて外交部の講壇に立ちました。報道官になって間もなく日本小大使の皆様と交流でき、非常に光荣だと思います。北京市人民政府外事弁公室とイオン1%クラブは既に8年間連続で「中日小大使」交流活動を実施していることを聞きました。私もこの素晴らしい伝統を引き継いで、今日皆様との交流を通じて、中日両国の民間友好と相互理解を促進する為に力を尽くしたいと思います。



☺小大使の感想

私は報道官として一番気を配っているものは何かと質問したら、報道官は最初に冗談でネクタイや髪型と答えましたが、その後、本音で自分の想定外の質問が来たらどう対処するかと答えてくれました。とても面白くて凄い人だなと思いました。



岩田高等学校
男子学生

<表敬活動>

●北京市人民政府主催の歓迎会

日 時：10月11日（火）

場 所：紫玉山荘

主催者：北京市人民政府外事弁公室 趙会民主任、高志勇副主任、謝約処長

出席者：武漢市人民政府外事弁公室 張軒副主任科員、青島市人民政府外事弁公室 王蓬副処長、
青島市教育局国際交流合作処 李毅主任科員、日本小大使 70 名



趙会民主任より日本小大使へ歓迎のご挨拶



趙会民主任の話を聞いて、微笑を浮かべる日本小大使



趙会民主任と記念写真



趙会民主任と記念写真

（前略）

この二、三日、皆さんは表敬訪問や見学活動にたくさん参加しました。これらの活動を通じて、皆さんは中国や北京に対して、新しい認識ができたと思います。皆さんの中でたくさんの人が北京に来たことがないと聞いています。中国の小大使が 7 月に東京を訪問した時に、中国と北京のことを皆さんに紹介したと思いますが、「百聞は一見にしかず」という諺の通り、実際に中国北京に来て、街を歩いて、自分の目で見たからこそ、本当の北京を知ることができると思います。

皆さんに自分の目で本当の北京を見てほしい理由は、同じ物を見ても、違う年齢の人の目で見れば、感じたことが違って来るからです。

この間、皆さんは北京の歴史と現在を見て、そして中国、北京政府の運営についても少し分ったと思います。これから、皆さんはペアの子の学校と家に入って、中国で学生はどのように勉強しているのか、普通の中国人はどのように生活しているのかを見て、中国がより理解できると思います。

中国と日本は一衣帯水の隣国で、両国は仲良くして、ウィンウィン関係を築くべきです。そのため、両国の若者はもっと知り合って、もっと親しくならなければいけません。親しむことによって、友好関係を保つことができます。

皆さんに今回の訪問を一つのきっかけとして、もっとペアの子と連絡してほしいと思います。今、皆さんは小大使ですが、将来に中日友好関係を築く大大使になります。皆さんは元気で成長して、早く大大使になることを望んでいます。

皆さんは残された数日間に、楽しく過ごして、日本に帰国した後に、学力が上がって、より幸せな生活を送ることを願っています。

<表敬活動>

●武漢市人民政府表敬訪問

日 時：10月12日（水）16:00～16:30

表敬相手：董 広利 副秘書長



「中日小大使」交流活動は既に中日青少年が交流する重要なプラットフォームであり、ブランド交流活動になっています。この活動に対して中日両国の参加者だけでなく、両国民も高く称賛しています。この交流活動は非常に有意義だと思います。

——董 広利 副秘書長



●青島市人民政府表敬訪問

日 時：10月12日（水）16:00～16:30

表敬相手：孫 立傑 副市長



中国と日本の平和友好は両国民の望みです。青島市は日本との民間友好交流、特に青少年を主体とする民間交流を大変重要視しております。小大使の皆さんは熱意に溢れ、且つ友好的で、皆さんから中日両国の発展、両国民の世代友好の美しい未来が見えます。

——孫 立傑 副市長



<歴史文化体験>

時 間：10月10日（月）～13日（木）



「万里の長城」見学 in 北京



「天安門広場」見学 in 北京



「故宮」見学 in 北京



「北京企画展覧館」見学 in 北京



「国家大劇場」見学 in 北京



太極拳体験 in 北京



「景泰藍（七宝焼）作り」体験 in 北京



「雁西湖 APEC 会議センター」見学 in 北京

＜歴史文化体験＞＜交流活動＞



「三峡ダム」見学 in 宜昌（武漢から340キロメートル）

☺小大使の感想

日本にはない壮大な景色です。中国のスケールの大きさを改めて感じました。水の量もすごいですけど、やはり設備が本当に中国の発展を表しているものだと思います。



岩田高等学校
男子学生



「高密泥虎」「年画」作り体験 in 青島



「青島大学訪問&授業体験」 in 青島

<交流活動>

●授業体験 in 北京

時 間：10月14日（金）

場 所：北京滙文高校、北京市三里屯第一高校、北京市順義牛欄山第一高校



北京の漢民族伝統手工芸品「毛猿」の説明を聞く小大使



毛筆で絵を描写



中国武術の体験

●授業体験 in 武漢・青島

時 間：10月14日（金）

場 所：武漢外国語学校、山東省青島市第二高校&分校



電子辞書を調べながら中国語の授業参加



太極拳の練習



先生から書道の手解きを受ける小大使



中国舞踊の体験

◎小大使の感想

全部中国語の授業ですが、理数系はちょっと分かることができて、嬉しかったです。学校が大きくて、設備もすごく整っているし、文化体験もできて、とても楽しかったです。



札幌日本大学高等学校
女子学生

< 交流活動 >

●ホームステイ

時 間：10月14日（金）～16日（日）



In 北京



In 北京



In 武漢



In 青島

☺ホストファミリーの感想

安東君（王さんのペア）が我が家に来るのを物凄く待ち望んでいました。短い間ですが、中国の普通の家庭生活を体験して、伝統文化に触れてほしいと思います。いい思い出になれば嬉しいです。小大使交流活動を通じて両国民が互いに深く知り合うことは、非常に有意義だと思います。



北京滙文高等学校
男子学生のお母さん

☺小大使の感想

ペアのお母さんは凄く優しくて、私が緊張していても、たくさん話しかけてくれて、自分も安心できて、自分のお母さんだと思えるような方でした。昨日一緒に晩御飯を食べた時に、日本と全然違う食事の仕方に驚きましたが、お母さんがいろいろ教えてくれて、いい経験ができました。



千葉市立千葉高等学校
女子学生

< 交流活動 >

● フェアウェルパーティー

時 間：10月16日（日）

In 北京



ダンス「Perfect Human」を披露！

In 武漢



誕生日を迎えた学生にサプライズケーキ！

In 武漢



ペアで撮った写真コンテストを開催！

In 青島



滞在中の映像を鑑賞！



参加証明書を授与！

(イオン1%クラブ及び訪問先政府押印)



In 北京



記念写真（東京、千葉と北京の小大使及びご家族の皆様）

<「日中交流集中月間」特別活動>

●北京市中日密雲植樹活動

公益財団法人イオン環境財団、北京市人民政府外事弁公室、北京市園林緑化局、北京市密雲区人民政府の主催で、北京市密雲区にある密雲ダム周辺住民及び北京市民の飲料水を確保するため、水源涵養機能の向上と伐採地の森林再生のために行う植樹活動です。日中両国の親交を深め、北京の環境改善に力を尽くすために、北京で交流している日中小大使 60 名及びご家族を含め、合計 800 名のボランティアの方々が植樹に参加しました。

日 時：10 月 15 日（土）9:30～11:30

場 所：北京市密雲区東邵渠鎮史長峪村



植樹活動開会式



木を植えている日中小大使

☺小大使の感想

環境にいいということで始めましたが、結構しんどくて、予想以上に重いです。今植えているのは4本目ですけど、10本ぐらい頑張りたいと思います。



筑波大学附属高等学校
男子学生

木を植えるのは非常に疲れますが、とても有意義だと思います。ペアの子と一緒に木を植えて、お互いに協力しながら作業をする楽しさを感じました。



北京市三里屯第一高等学校
女子学生

●武漢市太陽光発電システム贈呈式

公益財団法人イオン環境財団の主催で、再生可能エネルギー活用の啓発・普及および環境について学ぶ教材として役立てていただくことを目的に、武漢市の小学校・中学校合計 5 校への太陽光発電システムの贈呈式です。武漢で交流している日中小大使 40 名を含め、合計 160 名の方々が贈呈式に参加しました。

日 時：10 月 16 日（日）14:00～15:00

場 所：武漢市光谷第九小学



大分市の代表的な祭り府内戦紙（ふないぱっちゃん）
を披露している日本小大使



集合記念写真